

磐城時報

日刊 九廿夕
編輯 石城郡平町地蔵町十四
印刷 石城郡平町地蔵町十四
發行 石城郡平町地蔵町十四
電話 二二二二
代印 所 磐城時報社
一 部 金 貳 銭 一 月 金 貳 拾 銭
日刊 一 行 十 四 字 詰 金 五 十 銭
休 刊 日 曜 祭 日 休 刊

平町の下水道

工費二十萬圓はかかる 月一日から調査に着手

平町では多年の懸案である下水不衛生なので取り敢えず下水道囑託道新設については来る五月町會柴山技師をして四月一日から下議員改選後調査委員を擧げ根本水道の設計に着手させる事となつた。調査委員は町是の方針を定め、下水道はコンクリート管の管であるが現在の下水溝は流を以て暗渠とする必要あり従つて少量の汚物を投げ捨てて平町地内の幹線を改修するに於ては腐敗臭氣甚だしく煩るに於て工費二十萬圓を要するにせざるを得ない。

大谷氏除外問題で

一部組合員奮起 余りに非道いやり方だ

平町信用組合總代人會は去る二、三の如くは若くは他の理由に基き十四日開催し役員を改選した事にも明瞭の限りではないが、平町信用組合が創立十五週年の程着工した有志の芳名を記すに當り當時の各有志の芳名を改選の結果現組合長大谷久蔵氏の紀念日を近く迎へんとする際今更工事を中止する事も出来ずは如何なる事情のためか理事、監事の何れにも當選しなかつたのでこの儘では理事互選で決定する組合長にはなれぬ事情となつた。

小玉石加工品の

品評會を開く 赤井農事實行組合の試み

石城郡赤井村北部の赤井川の石よりも以上に優美な石質も圍源に全國一箇所より産出されないのである。種々の細工をするに當り、赤井農事實行組合は、赤井川の石を多量に産出する。この石は支那の石工等に盛んに蒐集して居る。同村農事實行組合でもこの

石に加工した處何れも成績良好であつた。農家の副業として最も適當な仕事である。云ふので最近では全く副業化するべくそれれ加工の練習を行つて居る。この加工品の販賣に就て販路を開拓する爲め實行組合では石城磐城東線小川驛附近の平驛をして列車轉覆を企てたものあり。郡農會の力を借り今秋頃小玉石加工品大品評會を開く計畫である。何物かが線路に鐵を縦につつき

出炭制限のため

鑛山税減少

平町鑛務署では仙臺鑛山監督局より出炭制限の通知を受け、本年度分の出炭税を左の如く調定した。監督局から未だ到着せぬため全部調定が出来ず困りまゝである。なほ税額は出炭制限の結果前年に比し約一割近く減少した。

平商業入學者

- | | |
|-------|---------|
| 入山炭坑 | 三・四・一六四 |
| 古河炭坑 | 一・二・二二〇 |
| 三井炭坑 | 一・一・五六二 |
| 福島炭坑 | 三・八・八〇〇 |
| 大日本炭坑 | 五・二・四〇〇 |
| 不動澤炭坑 | 二・四・七七七 |

鉄を線路に差して 列車轉覆を企つ 頻發する列車妨害 犯人は十七の少年

平町、内郷、飯野一町二箇村より成る悪水豫防組合では来る四月廿七日、飯野二箇村で、飯野二箇村では工事費負

十八日午後八時頃石眞犯人として上小川村大字上小川字樋ノ内原田菊雄(十七假名)を逮捕し、日下取調中であるが、同人は列車が轉覆するのを見た。この犯人を敢てしたものは、家に歸つて考へ出して恐ろしさの余り床につくやうになつたため逮捕されたのである。

演奏會

平町南町琴曲師匠鈴木佐喜男女史主催の華會は四月三日正午から晝夜二回平町南町日本キリスト教會に開催する由で演奏曲目並に出演者の如し。

磐城銀行で

報告延期願

休業中の磐城銀行は第六十五、第六十六の二期の業務報告書を出来ないので大蔵大臣の認可を得て本年三月三十一日までに提出する等であつたが整理すまなう四月三十日まで一ヶ月間提出延期方を大蔵大臣に願ひ出でた。

新川擴張工事

愈々着工

平町、内郷、飯野一町二箇村より成る悪水豫防組合では来る四月廿七日、飯野二箇村で、飯野二箇村では工事費負

- | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|-------|------|-------|-------|-------|--------|--------|------|------|---------|-------|-------|
| 夜の部 | 一、八千代獅子 | 二、松くし | 三、薄霞 | 四、磯千鳥 | 五、美だれ | 六、新高砂 | 七、近江八景 | 八、山ざくら | 九、姫松 | 十、夕顔 | 十一、新道成寺 | 十二、狐會 | 十三、六段 |
| 出演者 | 鈴木佐喜男、水津榮子、海老原悦子、河野市子、山田弘子、飯村鏡子、草部千穂子、山内朝子、梅原敏子、古川直子、中野雅子、若松美恵子、北村近子、藤井久子、矢内シゲ、大和田、サヲ、小野イシ子、阿部修子、上久保富美治、山田朝子、尺八、飯高昭童、小野静童、谷口鹿童 | | | | | | | | | | | | |

農實組合で 奨励金申請

石城郡各村農事実行組合三年度事業もいよいよ終了したので石城郡農會では二十八日各組合の事業奨励金交付方を申請した。

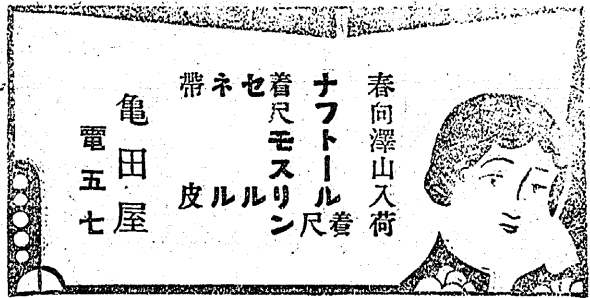
常磐各礦で 更に出炭制限

石城の各炭礦では昨夏山元貯炭廿萬噸に達しその處分に悩み余儀なく二割程度の出炭制限を行つた結果昨今では有煙炭は殆んど山元貯炭皆無となつたが今後は不需用期に向ふので第二次出炭制限は本月末を以て満了するが更に引續き現在通りの生産制限を協定する筈で久しく無配を續けてゐる磐城炭礦の如きも四年度上半期からは多少の配當をなし得るであらうと。

過ぎ去りし日(二)

宵も過ぎ 遊里も 過ぎやかなりし頃 町へ…… 二人は月光の下を ドボ…… 「あのカフェエツツバメで 休まふじやないか」 「エ……」 夜の享樂ビヤホール 僕はビール 彼女はコーヒ― 我等二人を ながめる ウェストレス達 廻る番音機のレコード 流行小唄 「青春の夢」 明月も淡く 更け行く頃 六丁目…… 大工町…… 踏切を越へ

汽關庫裏の露路を 通りぬけ 月影にぼかし浮く お城山 野露に すぐは虫の音 瞬くは星 「羨ちゃん……」 「眞砂ちゃん……」 互に呼びかわす 「愛の言葉―」 夜露は冥々の裡に下り 二人の衣袂は シットリと。



春向澤山入荷 ナフトール 着尺モスリン 帯ネル 皮ル 亀田屋 電五七

入學學生靴の御用命は大塚支店へ

進級 中 女 小 等 生 生 生 生 用 用 用 用 靴 靴 靴 靴

於 全國靴工競技會賞状 勲業博覽會金牌 受領 大塚支店 製靴部 運動具部

滋養、強壯劑として愈々好評 偉大なる藥酒 栗守酒 朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力 栗守酒特約店 大平屋藥店 代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目 電話六四三二

廿九日替巨彈！巨彈

▲帝キネ現代劇 里見明、吉田豊作主演 未來の大臣 濱田格、中村獅歌平助演

仇討制度

▲大木多呂九平作品 實川善雁、根岸東一郎主演 大林梅子助演 松本三郎、實川延松主演 怪盜喜八 稻葉小僧

▲米國メトロゴールドウキン 映畫 原作トーマスハーデー翁 悲劇 受難のテス プランチスウィート嬢 自由撰 帝キネ 有聲座

平町紺屋町 吉田眼科院 電話六八番

廣告

一、本 科 生 百 名 尋常小學校准教員並ニ師範學校準備教育 一、普通科第一學年 生 百五十名 中學校低學年同一程度 一、募集 期 限 三月三十一日限り 一、高等小學校二學年卒業生ハ試験ヲ要セズ 入學ヲ許可ス 右 募 集 ス 昭和四年三月 磐城佑賢學舎

Advertisement for 'Sekiryu' (セキリユ) cough medicine. Includes illustration of a person coughing and text: 鎮咳液 特約藥局 關内藥局 平町四丁目 電話四〇番

Advertisement for 'Sponin' (スポンン) medicine. Includes illustration of a medicine bottle and text: スポンン 滋強第一 味のしつ 強壯の効 著大 肉を 血を ぶやし 肥やす 錠ニピロクモヘンボツス 錠ニピロクモヘンボツス 錠ニピロクモヘンボツス 錠ニピロクモヘンボツス 店 理 代 角 目 丁 五 町 平 局 藥 邊 野 山

靴とカバンは 福山に限る 平町役場前 福山支店

Advertisement for 'Hana Yabu' (花柳病科) clinic. Text: 外科 花柳病科 專門 平町六丁目橋際 木村外科醫院 電話三〇九番

Advertisement for 'Student Canteen' (學生カバン) and 'Student Boots' (學生ボ―シ). Text: 進級と入學に 學生カバン 學生ボ―シ 女學生用手提靴ニ 商業學校指定の 特製手提げ靴 平町四丁目 ツルヤ商店 電話百四十番

Advertisement for 'Midwifery Student Recruitment' (第二十三回産婆生徒募集). Text: 第二十三回産婆生徒募集 無試験入學 一、入學資格 高卒以上の學力ある者 一、修業年限 一ケ年 一、申込期間 四月八日マデ 婦人にも職業の必要な時代が参りました 産婆看護婦 として婦人に最もふさわしい職業は…… 産婆看護婦 収益も多大で又家庭の一助ともなる産婆看護婦をおすめ致します ◆希望の方は最も成績の良い 平町南 町(電話三〇七番) 平産婆看護婦學校へ 校長 清野 さよ

印刷物……は……加納活版所